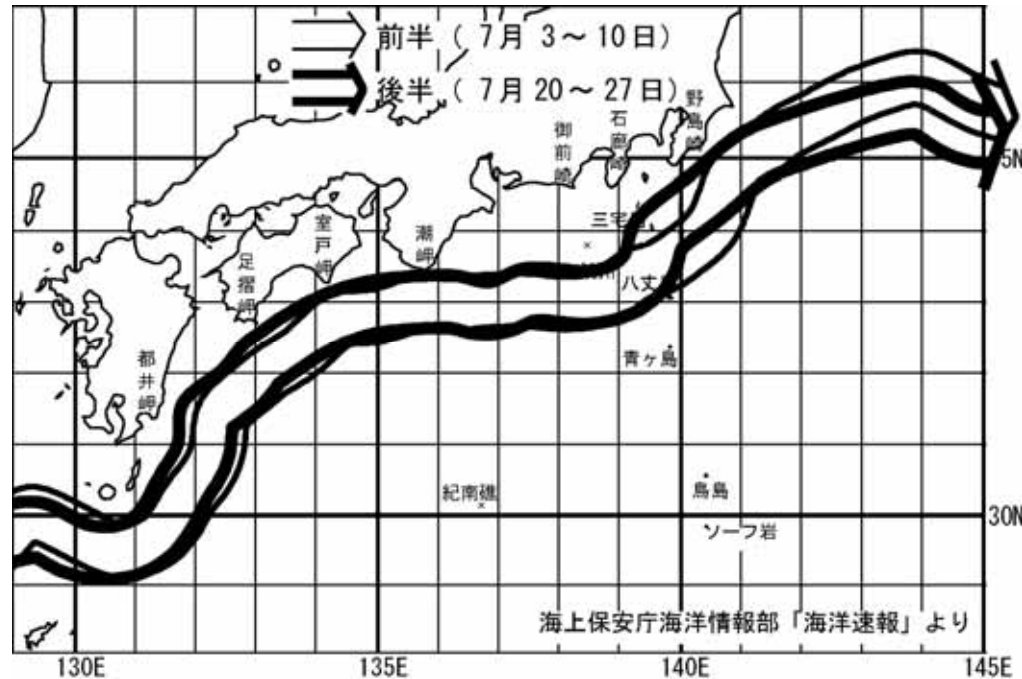


漁海況月報

平成 26 年 7 月 1 日

No. 7 ~ 7 月 31 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



7 月定地水温の旬平均値 () (下段は平年偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	24.2	22.9	22.4	23.3	23.6	22.6	23.5
	+2.1	+1.7	+0.8	+0.4	+0.8	-0.2	+0.9
中旬	23.1	21.9	20.3	23.6	25.1	23.3	23.2
	+0.1	+0.1	-1.5	-0.3	+1.1	-0.5	-0.4
下旬	24.2	23.6	23.7	24.2	25.0	24.8	23.8
	-0.1	+0.9	+0.8	-0.8	+0.2	0.0	-1.1
月	23.8	22.9	22.3	23.7	24.6	23.6	23.5
	+0.7	+1.0	+0.2	-0.2	+0.7	-0.2	-0.2

【黒潮流路】

前半の黒潮は、足摺岬～潮岬で接岸した後、遠州灘沖の 33.5°N 付近を東に進んだ後、八丈島と三宅島の間を通過し房総半島沖へ流れた。後半も足摺岬～潮岬で接岸し、遠州灘沖の 33.5°N 付近を東

進した。その後、伊豆諸島の西側から北東に向かい、三宅島と房総半島に前半より接近して流れた。

【県下沿岸域】

上旬は、相模湾側では伊東、稲取で「高め」、下田では「やや高め」であったが、駿河湾では「平年並」～「やや高め」であった。中旬は、相模湾側では下田で「低め」の他は「平年並」、駿河湾では「やや高め」～「やや低め」であった。下旬は、相模湾側では「平年並」～「やや高め」、駿河湾では「平年並」～「やや低め」であった。

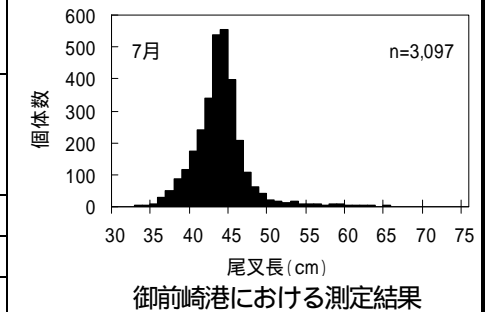
【竿釣カツオ】

7 月の県内主要 5 港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオ（近海船+沿岸船）の水揚量は 93 トンで前年同期の 33% であった。

近海竿釣り船の水揚げはなく、沿岸竿釣り船が 30~34°N、138~140°E の伊豆諸島海域で尾叉長 44cm モードの小カツオを主体に漁獲した。魚価は 395 円/kg で前年同期を上回った。

竿釣りカツオ水揚量（近海船+沿岸船、県内主要 5 港）

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
26 年 7 月上旬	37	15	2.5	425
中旬	19	11	1.7	393
下旬	37	17	2.2	365
26 年 7 月計	93	43	2.2	395
25 年 7 月計	285	66	4.3	267
24 年 7 月計	231	75	3.1	381



【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）の水揚量は 414 トンで前年の同漁場の水揚量（208 トン）の 2.0 倍となった。また、1 か統あたりの水揚量は 59.2 トンで前年（29.7 トン）の 2.0 倍、平年（昭和 57～平成 25 年の平均 41.7 トン）の 1.4 倍となった。

魚種別の漁獲量をみると、さば類、シイラ、カタクチイワシの順に多かった。さば類はゴマサバ主体であった。カタクチイワシは赤沢、川奈漁場で、ウルメイワシは伊豆山、古網漁場で大半を占めた。赤沢漁場にワラサが 15 トン超水揚げされた。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が 84.9 トン（さば類、シイラ、マイワシなど）、赤沢漁場が 77.4 トン（カタクチイワシ、さば類、ブリなど）、川奈漁場が 72.7 トン（シイラ、カタクチイワシ、さば類）の順に多かった。

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	156.3	1.7	1.5	北川、富戸、古網
シイラ	78.7	3.6	6.4	川奈、北川、伊豆山
カタクチイワシ	65.7	8.2	2.9	赤沢、川奈、古網
マイワシ	30.6	155.4	0.9	赤沢、北川、古網
ウルメイワシ	22.3	11.8	3.6	古網、伊豆山、川奈

[サバたもすくい・棒受網]

小川港ではゴマサバ586トン(前年同月比69%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量は22.5トン(前年同月比93%)であった。1kgあたり平均単価は、91円で前月(85円)、前年同月(82円)を上回った。

棒受網はゴマサバ主体で、上旬から中旬は三本、三宅において、下旬は銭洲でも操業した。ゴマサバは27cmにモードを持つ1歳魚主体であった。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
26年7月上旬	0	266	4	13	0.0	20.5	0	90	三本、三宅
中旬	0	107	2	4	0.0	26.6	0	89	三本、三宅
下旬	0	213	5	9	0.0	23.5	0	93	三本、三宅、銭洲
26年7月計	0	586	11	26	0.0	22.5	0	91	
25年7月計	0	845	14	35	0	24.1	105	82	銭洲、三本、三宅
24年7月計	0	888	13	29	0	30.6	0	62	三本、三宅

水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。25年マサバについては、僅かに水揚げがあったため単価のみ記載している。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が434kg、遠州灘が230kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は331kgと前年同期(105kg)の315%、平年同期(過去5か年平均:493kg)の67%と、過去25年間で最も低水準であった前年同期を上回ったものの、平年同期を下回った。特に遠州灘4港(御前崎、福田、舞阪、新居)で低調であった。

また、総水揚量は445.1トンで前年同期(142.8トン)の312%、平年同期(1267.8トン)の35%と、過去25年間で最も低水準であった前年同期を上回ったが、平年同期を下回った。近年は夏漁(6~9月)の最盛期が7月となるが多かったが、2年連続でこの傾向が異なっている。平均単価は545円/kgと前年同期(1,041円/kg)、平年同期(698円/kg)を下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延続数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	12.1	11	59	205	687
舞 阪	54.8	11	240	228	739
福 田	52.0	10	247	211	655
御前崎	36.5	13	129	283	584
吉 田	155.9	17	385	405	440
静 岡	133.7	13	283	473	521
平成26年7月計	445.1	75	1,343	331	545
平成25年7月計	142.8	66	1,363	105	1,041
平成24年7月計	2,593.4	128	3,027	857	635

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。
平年同期：過去5か年(平成21~25年)平均値

[まき網]

小川港ではマイワシが34kgの水揚げで、平年同期(6.8トン)の0.5%であった。沼津港ではマイワシが25.1トンの水揚げで平年同期(28.6トン)の88%、カタクチイワシは20.4トンであった。静浦港ではマイワシ、カタクチイワシの水揚げはなかった。伊東港ではマイワシの水揚げは12.9トンで平年同期(87.4トン)の14.5%、カタクチイワシは71.4トンであった。

平年同期：過去5か年(平成21~25年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

7月1日 ~ 7月3日	地先定点観測調査	(3日間)
7月14日 ~ 7月15日	サバ類用撒餌(ソルブル)釣獲試験、標識放流調査	(2日間)
7月16日 ~ 7月17日	サクラエビ産卵調査	(2日間)
7月22日 ~ 7月24日	サクラエビ卵数法(1KMT)調査	(3日間)
7月28日 ~ 7月29日	ハダカイワシ資源化(MOHT)調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

